

北っ子通信

令和5年度

津島市立北小学校

5.26号

北小学校はコミュニティースクール（学校運営協議会）

北小学校は昨年度よりコミュニティースクール（学校運営協議会）となりました。5月24日（水）本年度、第1回のCS（コミュニティースクール）会議を開催しました。13人の委員の参加で、今年後の学校支援事業の計画について話し合いました。地域ボランティアを募集して、学校の様々な活動にボランティアとして参加して下さる方の人材バンクを作ろうということが中心話題でした。保護者だけでなく、地域に住んでいる方にも、時間があるときにはぜひボランティアに参加していただき、北小学校の子どもたち「北っ子」とふれあっていただきたいという取組です。「読み聞かせ」「校外学習（町探検）」では、今年度もすでに、ボランティアの方々にお世話になっている「北っ子」たちです。学校への支援に対しては、「北っ子」のたくさんの笑顔でお返しをしたいと思っております。どうぞこれからもよろしくお願いたします。

また、協働本部（北らぼ）は、北小学校のこと、北小学校区コミュニティの活動のことを、地域の方々にもっと知っていただくことが大切ではないかと、広報のチラシ作りをしていくことが確認されました。北小学校もHPを使って、毎日学校の情報をアップしています。多くの方に、北小学校のことを知ってもらうよう努めていきます。



『コミュニティースクール（学校運営協議会）』『地域学校協働本部』とは・・・

急激な社会変化の中で、学校が抱える問題は複雑化・困難化し、また、価値観の多様化に伴い、地域のつながりや支え合いも希薄化してきています。そこで、「地域でどのような子どもたちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という目標やビジョンを地域住民と共有し、地域と一体となって子どもたちを育てる「地域とともにある学校」を目指して協議する組織が学校運営協議会、コミュニティースクール（CS）と呼ばれるものです。津島市では全校がCSとなっており、各校15名ほどの委員で構成されています。

地域学校協働本部はCSで話し合われた内容を協働活動として実行するために、企画・準備・調整等を行いながら、目的の実現に向けて、学校や地域とともに協働活動を推進する組織です。本部長・コーディネーター・役員等が中心になって、CS委員と地域のボランティアと共に活動を進めます。

《津島市地域学校協働本部から配布されたチラシより》

保護者のみなさまへ <お願い>

このところ、暑くなったり、涼しかったり・・・体調を整えるのが大変な毎日です。ニュースを見ていると、インフルエンザ等、感染症の流行も心配されています。お子様が学校で調子が悪くなった際は、すぐに家庭へ連絡を入れさせていただきます。朝、登校前の健康観察もよろしくお願いいたします。

また、今後、暑くなっていくと水分は欠かせません。「熱中症への対応」も含め、通信等では、お子様には十分な水分をもたせていただくようお願いをしていますが、万が一、水筒等忘れて登校してきた場合についても、家庭へ連絡を入れさせていただきます。緊急時を除き、学校では、保護者の許可なく飲食物を口にさせることはありません。家庭から持たせてもらったもので、水分補給をさせます。登校前に、必要な水分を持っているか、必ずご確認をお願いします。